

令和元年度 国際交流分野事業調査結果A

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査票Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
 (3) 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業
 ※それ以外の事業は「令和元年度 国際交流分野事業調査結果B」に掲載されています。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
 - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「目的」
 - ・事業で達成すべき目的
- 「内容」
 - ・事業の内容
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」※アンケート未実施の場合、「一」が記載されています。
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「実績(内容)」
 - ・30年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業の目的に対して、事業で得られた成果
- 「課題と改善点」
 - ・事業の目的に対して、不十分だった点や改善すべき点
- 「今後の方向性」
 - ・今後の事業の方向性
- 「担当課」・「担当係」
 - ・事業を担当する課・係

| 国際交流 | | (所管課) |
|--------------------------|-------------------------------|----------|
| 【分野別目標1】国際理解を育む機会づくり | | |
| 1 | 地域連携活動事業 | アカデミー推進課 |
| 2 | 国際理解教育の推進 | 教育指導課 |
| 3 | 国際交流フェスタ | アカデミー推進課 |
| 4 | 英語観光ガイド | アカデミー推進課 |
| 5 | 姉妹都市等との交流 | アカデミー推進課 |
| 6 | ドイツ・カイザースラウテルン市姉妹都市提携30周年記念事業 | アカデミー推進課 |
| 7 | 海外都市との交流の活性化 | アカデミー推進課 |
| 8 | ホームステイ生徒交換事業 | アカデミー推進課 |
| 9 | 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携 | アカデミー推進課 |
| 10 | 生涯学習講座での国際理解推進 | アカデミー推進課 |
| 【分野別目標2】外国人が快適に過ごせる環境づくり | | |
| 1 | 文京区紹介映像多言語版の公開 | 広報課 |
| 2 | 外国人の日常生活支援のための多言語化 | アカデミー推進課 |
| 3 | 通訳クラウドサービス活用による外国人相談等 | 広報課 |
| 4 | 図書館における外国語の新聞・雑誌の提供 | 真砂中央図書館 |
| 5 | 配布物の多言語化(スポーツ振興課) | スポーツ振興課 |
| 6 | 配布物の多言語化(リサイクル清掃課) | リサイクル清掃課 |
| 7 | わかりやすいホームページの構築 | 広報課 |
| 8 | わかりやすいまちの表示 | 区民課/道路課 |
| 9 | 防災対策での多言語対応 | 防災課 |

【分野別目標1】 国際理解を育む機会づくり

| 整理No. | 頁 | 実施計画 事業番号 | 事業名 | 目的 | 内容 | 事業費(千円) | 実績(数) | | 参加者 満足度 | 実績(内容) | 成果 | 課題と改善点 | 今後の方向性 | 担当課 | 担当係 | | |
|----------------------------------|----|--------------|------------------------------|---|---|---------|--------|------------|------------|--------|--|--|--|------|--|----------|--------|
| 【基本的な方向性(1)】 交流の機会の拡充 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 68 | 交04-01 | 地域連携活動事業 | 区内外国人の地域との連携を高め、日本文化への理解を深めてもらうとともに、今後の国際交流活動への契機とする。 | 地域の行事や団体と連携して、外国人の方が日本の文化体験や日本人との交流を通じて、日本人や日本文化を理解できる環境づくりを行う。 | 予算 | 93 | 当初予定数(定員等) | — | — | ①スポーツセンターリニューアルイベントにおけるドイツ交流都市紹介及びアンペルマンスタンプラリー 実施日：平成30年6月30日 参加者数：約500人 ②薪能鑑賞(肥後細川庭園) 実施日：平成30年7月21日 参加者数：15人 ③能楽鑑賞会(宝生能楽堂) 実施日：平成31年1月27日 参加者数：6人 | 肥後細川庭園での薪能、宝生能楽堂での能楽の鑑賞を通して、外国人に日本の伝統文化への理解を深めてもらうとともに、区内の伝統的な施設の周知を図ることができた。また、スポーツセンターリニューアルイベントにおいて、区民に対し、姉妹都市及びドイツについての理解を深めることができた。 | 外国人が日本の伝統文化についての理解や日本人との交流を深められるだけでなく、区民の国際理解を一層促進する事業を検討していく必要がある。 | 拡充 | 区内の伝統的施設や留学生受入施設、大使館等と連携し、外国人・日本人双方が相互理解を深めることができる事業を展開していく。 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 15 | 実績数 | 521人 | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 2 | 68 | | 国際理解教育の推進 | 新小学校学習指導要領による外国語活動及び外国語科の増進に伴い、小学校において外国人英語指導員(ALT)の配置時数を増やし、これからの国際社会で必要とされるコミュニケーション能力の育成を図る。 | 全区立小・中学校の全学年にALT(外国語指導助手)を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行う。 | 予算 | 51,405 | 当初予定数(定員等) | — | — | ALTの配置時数の実績 小学校 小学校第1・2学年 10時間 小学校第3・4学年 20時間 小学校第5・6学年 53時間 中学校 中学校第1～3学年 70時間 | ・小学校第3学年から第6学年までの児童の英語によるコミュニケーション能力(パフォーマンス)の向上 ・今後のグローバル化社会及び東京オリンピック・パラリンピックに向けて英語によるコミュニケーション能力の向上 | ・小・中学校の児童・生徒が発達段階に応じて、どの程度、4技能が定着できているか、効果検証ができていない。 | 拡充 | 小学校で外国人英語指導員(ALT)と児童がコミュニケーションを図れるように、全日配置型の配置を検討する。 ・ALTの配置や児童の英語の4技能がどの程度身に付いたか、効果検証するために、英語検定を導入することを検討する。 | 教育指導課 | 教育指導課 |
| | | | | | | 決算 | 51,113 | 実績数 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 3 | 43 | 交04-01 | 国際交流フェスタ | 外国人と日本人が、文化を通じて友好交流及び相互理解を深める。 | 外国と日本の様々な文化体験ができる、国際交流フェスタを実施する。 | 予算 | 2,131 | 当初予定数(定員等) | — | — | 実施日時：平成31年3月2日(土)10:00～16:00 参加者数：約1,100人 参加団体：37団体 事業内容：日本の伝統文化体験、国際交流サロン、ステージパフォーマンス、各国情報の紹介、各国食品の販売 | 日本や外国の様々な文化体験等を通して、日本人と外国人が文化を通じた友好交流を進め、相互理解を深めることができた。 | 外国人来場者を増やすとともに、今まで取り上げていないジャンルも含め、様々な文化、国、団体等を模索し、さらに多彩なプログラムを組み、魅力を高めていく必要がある。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 | |
| | | | | | | 決算 | 1,971 | 実績数 | 1,100人 | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 4 | 61 | 交04-01 | 英語観光ガイド | 観光振興及び区の国際化を促進する。 | 英語観光ガイドが、区内の庭園、寺社、文化施設等を外国人の方に案内し、各所の歴史や魅力を紹介する。 | 予算 | 82 | 当初予定数(定員等) | — | — | 登録ガイド数：30人 ・4月1日 小石川後楽園 参加者 6人 ・6月3日 小石川後楽園 参加者 2人 ・6月17日 東京大学・根津神社 参加者 5人 ・10月14日 小石川後楽園 参加者 17人 ・11月10日 湯島天満宮菊まつり・おりがみ会館 参加者 7人 ・12月2日 小石川後楽園 参加者 2人 ・2月16日 湯島天満宮梅まつり・折り紙会館 参加者 3人 ・2月24日 小石川後楽園 参加者 1人 ・3月30日 護国寺 参加者 9人 ・3月31日 小石川後楽園 参加者 4人 | ボランティアの協力により、開催回数は過去最多となった。日本の四季に合わせた庭園等のガイドは外国人に高評価を得ている。 | さらに多くの外国人に参加していただけるよう、周知方法を見直すとともに、新たな観光ルートの開発など、ニーズに合わせた工夫ができるよう努める。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 | |
| | | | | | | 決算 | 7 | 実績数 | 56人 | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | 93人 | — | | | | | | | |
| 【基本的な方向性(2)】 海外都市との交流の活性化 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 69 | 交02-03 | 姉妹都市等との交流 | 海外都市との交流を活性化し、区民の国際理解を育む。 | 北京市通州区公式訪問団を受け入れ、相互交流を深める。 | 予算 | 5,402 | 当初予定数(定員等) | — | — | ①北京市通州区 平成30年8月20日 訪問団受入 5名(区のリサイクル事業について説明) | 北京市通州区公式訪問団を受け入れ、区のリサイクル事業について意見交換を行うなど、相互理解及び相互交流を深めることができた。 | 北京市通州区との友好都市提携に向け、より一層の交流を進めていく必要がある。また、海外都市との交流について、区民に関心を持ってもらうよう、周知等を工夫する必要がある。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 | |
| | | | | | | 決算 | 213 | 実績数 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 6 | | | ドイツ・カイザーラウテルン市姉妹都市提携30周年記念事業 | 姉妹都市提携30周年を記念し、一層の相互理解の促進と友好関係を深める。 | 姉妹都市提携30周年を記念し、カイザーラウテルン市公式訪問団の受け入れをはじめ、ラッピングバスの運行、カイザーラウテルン広場案内板のリニューアル等を実施する。 | 予算 | 8,474 | 当初予定数(定員等) | — | — | 姉妹都市提携30周年記念事業 ①カイザーラウテルン市副市長を含む公式訪問団受入 7名 ②B-ぐるラッピングバス運行(～平成31年3月31日) ③カイザーラウテルン広場案内板リニューアル ④区民OB・OG組織「BKF」の結成支援 | 公式訪問団を受け入れ、区内施設の視察、ラッピングバスの運行、カイザーラウテルン広場案内板のリニューアル等多くのプログラムを実施し、姉妹都市30周年を機に一層の相互理解と友好を深めることができた。 | 姉妹都市提携30周年を迎え、関係を更に強固なものとしていくために、既存事業の他、新たな交流の在り方を検討する必要がある。 | 終了 | 姉妹都市提携30周年記念事業のため、終了。 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 8,458 | 実績数 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |

| 整理No. | 頁 | 実施計画 事業番号 | 事業名 | 目的 | 内容 | 事業費(千円) | | 実績(数) | | 参加者 満足度 | 実績(内容) | 成果 | 課題と改善点 | 今後の方向性 | 担当課 | 担当係 | |
|---|----|--------------|-----------------------|---|--|---------|------------|----------------|--------|------------|--------|---|---|---|------|----------|-------------|
| | | | | | | 予算 | 決算 | 当初予定数 (定員等) | 実績数 | | | | | | | | 申込数 |
| 7 | 69 | 交02-03 | 海外都市との交流の活性化 | 海外都市との交流を活性化し、区民の国際理解を育む。 | ベルリン市ミッテ区公式訪問団及びソウル特別市松坡区公式訪問団を受け入れ、相互交流を深める。 | 予算 | 5,402 | 当初予定数 (定員等) | — | — | — | ①ベルリン市ミッテ区 平成30年4月13日 訪問団受入 3名 ・アンペルマン信号機贈呈式 平成30年4月14日「鷗外が繋ぐ緑の日 独三自治体交流コンサート」を実施(森鷗外記念館) ②ソウル特別市松坡区 平成30年10月25日 訪問団受入 7名 | ベルリン市ミッテ区より、アンペルマン信号機が贈呈されるなど、新たな都市と相互交流を深めることができた。 | 姉妹都市・友好都市以外の海外都市との交流の活性化について、検討していく必要がある。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 512 | 実績数 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 8 | 69 | 交02-03 | ホームステイ生徒交換事業 | 姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進する。 | 姉妹都市カイザースラウテルン市との交流事業の一環として、中学生、高校生の派遣・受け入れを隔年で実施する。 | 予算 | 271 | 当初予定数 (定員等) | 4人 | — | — | カイザースラウテルン市の生徒を受入れた。 4人 平成30年7月18日から7月31日まで(14日間) 区長表敬訪問・昼食会 区内・都内見学 | 参加生徒とその家族は、本事業を通じて広い視野や価値観を身に付けており、更なる国際交流活動の意欲を高めている。また、国際交流フェスタでのボランティアや区民間交流に参加し、区民等に対してカイザースラウテルン市の見所をPRした。 | 試験的に実施した区民ひろばでの事業発表会の実施をはじめとする、本事業の区民への情報共有、価値還元について検討する。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 219 | 実績数 | 4人 | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 【基本的な方向性(3)】 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 70 | | 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携 | ボランティア団体、区内大学との協働・連携により行政本体でカバーできない支援業務、または異文化理解の機会を提供する。 | 「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業の後援等により、情報を広く発信する。 | 予算 | 0 | 当初予定数 (定員等) | — | — | — | ・共催 文京多言語サポートネットワーク「外国人のための専門家相談会」(6月・11月) ・後援名義 文京学院大学: 第33回「国際理解土曜セミナー」 文京学院大学: 第34回「国際理解土曜セミナー」 | 外国人住民が増加する中、通訳同席のもとで、弁護士等の専門家への相談が必要な機会を提供している。 | 令和元年9月の東京大学目白台インターナショナルビレッジ開設に伴い、外国人相談の需要が増加する可能性があるため、ボランティア団体と情報を共有し、必要に応じて開催回数を増やすなどの検討が必要である。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 0 | 実績数 | — | — | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | |
| 10 | 70 | 学01-02 | 生涯学習講座での国際理解推進 | 幅広い国際理解の機会を提供する。 | アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催する。 | 予算 | アカデミア講座に含む | 当初予定数 (定員等) | 729人 | — | 83.0% | ・文京アカデミア講座 25講座 [語学3講座、外国文化・歴史17講座、外国人おもてなし英会話5講座] (受講者840人 定員729人 応募者1,333人) | 語学、外国文化など幅広い分野の講座を提供できた | オリンピック・パラリンピックの開催に向け、ニーズを踏まえた講座を提供する必要がある。 | 現状維持 | アカデミー推進課 | (公財)文京アカデミー |
| | | | | | | 決算 | アカデミア講座に含む | 実績数 | 840人 | 115.2% | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | 1,333人 | 182.9% | | | | | | | |

令和元年度 国際交流分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標2】外国人が快適に過ごせる環境づくり

| 整理No. | 頁 | 実施計画事業番号 | 事業名 | 目的 | 内容 | 事業費(千円) | 実績(数) | 参加者満足度 | 実績(内容) | 成果 | 課題と改善点 | 今後の方向性 | 担当課 | 担当係 | | | | |
|--|----|----------|-----------------------|--|---|---------|---------|------------|--------|--------|--------|---|---|--|------|--|----------|-------------|
| 【基本的な方向性(1)】 区の資源を活用した、歴史文化等への理解の推進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 71 | | 文京区紹介映像多言語版の公開 | 区の内外に向けて文京区を紹介し、多くの人に訪れてもらえるように区の魅力を広く周知する。 | 区紹介映像「ようこそ文の京へ」(約12分)。英語、中国語、ハングル版を作成し、ホームページでも公開している。 | 予算 | — | 当初予定数(定員等) | — | — | — | 平成24年度に完成した映像を、引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っている。 | 海外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっている。 | 現在の3カ国語以外については、他の広報手段でどのように対応するかにあわせて検討する必要がある。 | 現状維持 | 引き続き、ホームページにおいて、紹介映像の公開を行っている。また、露出の機会を捉えて働きかけを行う。 | 広報課 | CATV担当 |
| | | | | | | 決算 | — | 実績数 | — | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 【基本的な方向性(2)】 外国人の生活・滞在に対する支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 72 | | 外国人の日常生活支援のための多言語化 | 区の行政サービスを利用しようとする、外国人の利便性の向上を図る。 | 外国人の住みやすさを向上させるとともに、区窓口での手続きの効率化を図るため、外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進める。 | 予算 | 1,414 | 当初予定数(定員等) | — | — | — | 戸籍住民課：個人番号カード記載票ほか 子ども家庭支援センター：案内パンフレット 子育て支援課：児童手当支給の手引きほか 保健サービスセンター：乳幼児健診問診票(4か月児健診)ほか 国保年金課：延滞金のお知らせほか | 庁内各部署が作成する文書の翻訳を継続して進めており、外国人住民の利便性向上に資するとともに、窓口業務の円滑化、効率化を図っている。 | 未対応の文書の継続取組や、改訂版文書へ対応するほか、現在の英語、中国語、ハングルに加え、やさしい日本語の文書の需要について調査する。 | 現状維持 | | アカデミー推進課 | 都市交流担当 |
| | | | | | | 決算 | 978 | 実績数 | — | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 3 | 72 | | 通訳クラウドサービス活用による外国人相談等 | 外国人住民の日常生活の相談に対し、適切な助言を与えることにより、円滑な日常生活を確保することを目的とする。 | 区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行う。また、区役所内において、同端末を利用し、行政サービスの案内を行う。 | 予算 | 951 | 当初予定数(定員等) | — | — | — | 広報課では通訳タブレットを3台契約しており、行政情報センターを訪れた外国人相談者に対し、区民相談員が通訳タブレットを使用して相談業務を行う。また、区民相談員が通訳タブレットを使用していない時間があれば、庁舎内の各所管課に貸出し、外国人住民対応用の通訳端末として利用している。 | 外国人相談13件のうち、6件は通訳タブレットを使用した。また、通訳タブレットの他課への貸出件数は363件だった。 | 軽微なことであっても、外国人住民の問い合わせや相談ができる窓口として周知していく必要がある。 | 現状維持 | 引き続き、区民相談の通訳タブレットとして配置し、各所管課への貸し出しも行っていく。 | 広報課 | 広聴担当 |
| | | | | | | 決算 | 951 | 実績数 | 369 | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 4 | 72 | | 図書館における外国語の新聞・雑誌の提供 | 図書館における多文化サービスへの対応 | 区立図書館で、英語、中国語、ハングルなどの新聞、雑誌、外国語図書を購入して、閲覧や貸出しに対応する。 | 予算 | — | 当初予定数(定員等) | — | — | — | 資料数 新聞：8紙 雑誌：15誌 図書：一般書 蔵書1,677冊 (平成30年度受入182冊) 児童書 蔵書5,188冊 (平成30年度受入78冊) 児童向け行事「えいごでえほん」の実施 | 英語圏だけでなく、アジアの国々で発行された本の収集にも取り組み、利用者者に提供した。 | 多文化サービス拡充のため、外国語資料の充実に加え、外国語での読み聞かせの実施、ホームページや利用案内の多言語化などについて、検討する。 | 現状維持 | | 真砂中央図書館 | サービス事業係 |
| | | | | | | 決算 | — | 実績数 | — | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 5 | | | 配布物の多言語化(スポーツ振興課) | 外国人利用者の施設利便性の向上のため、使用上のルールについての案内を英訳して配布する。 | スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布する。 | 予算 | — | 当初予定数(定員等) | — | — | — | スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内について、それぞれの施設窓口で配布。(経費は指定管理者が負担) | — | — | 現状維持 | | スポーツ振興課 | 施設等担当 |
| | | | | | | 決算 | — | 実績数 | — | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 6 | | | 配布物の多言語化(リサイクル清掃課) | 文京区におけるごみと資源の排出方法を記載したリーフレットを作成し、区民等に配布することにより、ごみと資源の適正排出の徹底を図る。 | 「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布。 | 予算 | 187 | 当初予定数(定員等) | 4,500 | — | — | H31年4月発行分を作成し、関係各所に配布。 | ごみと資源の適正な排出方法を周知することができ、適正排出の促進につながった。 | 国際交流が盛んになるにつれて現在作成している言語のみでは対応できなくなる可能性がある。リーフレットに区のHPのQRコードを載せるなど、他の言語でも閲覧できるような工夫が必要になる。 | 現状維持 | | リサイクル清掃課 | 清掃事業係 |
| | | | | | | 決算 | 136 | 実績数 | 4,500 | 100.0% | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 7 | | | わかりやすいホームページの構築 | 区政に関する情報や、生活に関する情報等を適切に配信する。 | インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行う。 | 予算 | 376,200 | 当初予定数(定員等) | — | — | — | 英語・ハングル・中国語(簡体・繁体)による表示が可能であり、自身の閲覧に適した表示により閲覧が可能。 | 行政に関する用語や人名等、適時、個別に単語として登録しており、翻訳が理解できない等の声は寄せられていない。 | 今後、外国人来訪者の増加を見込み、一層の翻訳精度の向上と新たな対応言語の選定。 | 現状維持 | 引き続き、翻訳精度の向上を図っていく。 | 広報課 | 報道・ホームページ担当 |
| | | | | | | 決算 | 295,920 | 実績数 | — | — | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 8 | 72 | | わかりやすいまちな表示 | 訪日外国人等に多言語による情報提供を行い、区内観光の利便性向上を図る。 | 案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区内施設における多言語表記を進める。 | 予算 | 430 | 当初予定数(定員等) | 5,000 | — | — | 30年4月作成のBーぐるルートマップの英語版を5,000部作成し、配布した。 | 主要な観光スポットに英語版のBーぐるマップを配布したことで、訪日外国人等の区内観光の利便性向上とBーぐるの利用促進が図られた。 | 英語版のBーぐるマップを効果的に活用してもらえるよう、配布場所を検討する。また、よりわかりやすく情報を伝えるため、マップのレイアウトを工夫していく。 | 現状維持 | | 区民課 | 庶務係 |
| | | | | | | 決算 | 430 | 実績数 | 5,000 | 100.0% | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |
| 8 | 72 | | わかりやすいまちな表示 | 多種多様な案内標識を整理・集約し、案内サービスの向上や景観に配慮した標識にする。 | 案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区内施設における多言語表記を進める。 | 予算 | 38,868 | 当初予定数(定員等) | 15 | — | — | 統一案内標識設置工 15基 既存案内標識撤去工 26基 | ビクトグラムや多言語表記によるわかりやすい的確な観光情報等を提供する標識を設置することにより、外国人や障害者、高齢者等を含む多くの方々に、安心・安全な観光まちあるきを楽しんでもらうことができ、本区の観光客に対するおもてなしの心を感じてもらうことができた。 | 標識が未整備の地域があるため、順次整備することが求められる。 | 現状維持 | | 道路課 | 整備工事係 |
| | | | | | | 決算 | 36,288 | 実績数 | 15 | 100.0% | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 申込数 | — | — | | | | | | | | |

| 整理No. | 頁 | 実施計画 事業番号 | 事業名 | 目的 | 内容 | 事業費(千円) | | 実績(数) | | 参加者 満足度 | 実績(内容) | 成果 | 課題と改善点 | 今後の方向性 | 担当課 | 担当係 | |
|-------|----|--------------|-------------|-----------------|---|---------|----|----------------|--------|------------|---|---|--|--------|-----|-----|--------------|
| | | | | | | 予算 | 決算 | 当初予定数 (定員等) | 実績数 | | | | | | | | 申込数 |
| 9 | 72 | | 防災対策での多言語対応 | 外国人に防災情報の啓発を行う。 | 防災啓発パンフレット等の多言語化、災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進める。 | 1,117 | | 1,000部 | — | — | ・防災パンフレット 平成30年11月発行 【配布場所】 防災課、地域活動センター、図書館など | 防災啓発パンフレットの配付により、外国人避難者への災害時における行動や、日常備蓄等の自助に関する考え方の啓発が行えた。 | より分かりやすく伝えるため、パンフレット等の構成を工夫していく。また、災害時専門ボランティア制度の周知をより進め、登録者を増やすとともに、訓練を通じた外国人避難者への避難所の周知等、新たな取組を検討する。 | 現状維持 | | 防災課 | 計画担当 備蓄担当 |
| | | | | | | 1,026 | | 1,000部 | 100.0% | | | | | | | | |
| | | | | | | | | — | — | | | | | | | | |